



第16回適塾講座
「パンデミックをジェンダーの視点から考える
～ Diversity & Inclusion」

9月29日(金)、10月27日(金)、11月10日(金) 18:30~20:00

概要

大阪大学適塾記念センターは、**9月29日(金)、10月27日(金)、11月10日(金)**に**第16回適塾講座**を開催します。この適塾講座は、緒方洪庵や適塾の塾生らの学問に対する真摯な姿勢を後の時代にも継承するため、平成23年度から一般の受講者も募り開講しています。適塾を開いた緒方洪庵は、天然痘に対する種痘事業やコレラ対策など、先進的な取り組みにより、医学・薬学的に大きな功績を残しました。今回の適塾講座では、新型コロナ禍で露呈した問題についてジェンダーレンズ*を通して見る重要性を確認し、諸課題についてグローバルな背景を持つ専門家たちに論じていただきます。

つきましては、本件の積極的なご周知・ご取材をお願いいたします。

※ ジェンダーレンズ : ジェンダー(性差)平等の視点を持ちながら物事を見ること

日時: 令和5年9月29日(金)、10月27日(金)、11月10日(金) 18:30~20:00

場所: 大阪大学中之島センター 7階セミナー室(大阪市北区中之島)

定員: 各回50名(先着順、要申込)

料金: 【適塾記念会会員(新規入会者を含む)】 1回: 1,000円 / 3回: 3,000円

【一般(非会員)】 1回: 1,600円 / 3回: 4,800円

申込方法: WEB→https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/form/r5tekijukukouza_form

FAX又はメール→氏名(フリガナ)/住所/会員・非会員の選択/電話番号/FAX番号/E-mail

上記6項目をご明記の上、お申込みください。

申込先: 大阪大学適塾記念センター FAX:06-6850-5015/メール:sympo-info@tekijuku.osaka-u.ac.jp

第1講座(9/29)

『格差の起源』(Galor, O. 2022)における感染症と男女平等に関する解釈
名桜大学人間健康学部教授 小川寿美子

『格差の起源』の著者 Galor によると「地理的な特性と、人口集団の多様性こそが世界の格差の背後にある最も根深い要因である」。未来志向や教育や技術革新を促し、男女平等や多元主義、差異の尊重を進めるような方策こそが、格差を軽減し普遍的な繁栄のカギを握ると説く本書を、現代日本の立ち位置から解釈します。

第2講座(10/27)

感染症と文明 — 共生への道

長崎大学熱帯医学研究所教授 山本太郎

14世紀ヨーロッパのペストは旧秩序(アンジャンレジーム)に変革を迫るものになりました。感染症は社会のあり方がその様相を規定し、パンデミックは時に社会変革の先駆けとなることがあります。またそうした社会変化は、パンデミックが終息した後でさえ続きます。一方、感染症はそれが「うつる」故に差別や偏見を通して分断を引き起こし、感染した人や社会的に弱い人々を排除してきた歴史を持っています。それはコロナのパンデミックでも繰り返されました。そうした意味で、感染症のパンデミックは医学的なものである一方、社会的なものともなります。そこから何を学ぶか、そんなことを話します。

第3講座(11/10)

パンデミックがもたらしたイタリア人の女性のアクティブエイジング概念の限界
大阪大学大学院人間科学研究科特任准教授(常勤) Paola Cavaliere

ヨーロッパでは2012年を「アクティブエイジングと世代間の連帯のためのヨーロッパ年」と定めて、高齢者のポテンシャルを高めることにより結果として「すべての人の質の高い生活」につなげることを目指してきました。超高齢化社会のイタリアでは、2019年ようやくアクティブエイジングの政策を導入した三カ年行動計画が開始されました。しかし、その直後にパンデミックが起きたことで、高齢者は保護すべき脆弱な対象という概念に戻りました。そこでボランティア活動を行う高齢の女性は、アクティブエイジング概念の限界に直面しました。同質的な「高齢者」概念を取り除き、ウィズコロナ時代には高齢者の新しいエンゲージメントの実現に取り組むことを提唱したい。【使用言語: 日本語】

適塾と大阪大学

1838年（天保8年）に緒方洪庵が開いた蘭学塾の適塾は、日本の近代化に貢献する人材を多数輩出しました。1942年（昭和17年）に国に寄付され、洪庵の子息や適塾関係者らによって明治初期に設立された大阪仮病院や大阪医学校を源流とする大阪帝国大学（当時）へ移管されました。以来、適塾の管理・保全に本学が携わってきました。また、本学および1952年（昭和27年）に設立された適塾記念会は、協同して緒方洪庵と適塾の事跡を調査・研究し、その歴史的重要性を社会に発信してまいりました。両者は、適塾の建物の保全につとめるとともに、緒方家や塾生の子孫の方々をはじめとする多くの方から洪庵や塾生ゆかりの資料の寄贈を受け、その適切な保存と管理にもつとめてきました。

2011年（平成23）、大阪大学に適塾記念センターが設立され、適塾記念会は同センター内に置かれることになりました。本学はこれらの活動を継承するとともに、さらなる進展を目指しています。

適塾記念センターの主な取り組み・行事

適塾記念センターは、「適塾関係資料画像データベース」によるウェブ上での資料公開、並びに「適塾特別展示」、「適塾講座」、等の行事を開催し、適塾に関する調査研究の成果を広く一般の方々に公開しています！



適塾関係資料画像データベース



適塾特別展示



適塾講座（令和4年の様子）

❖ アクセス



■ 電車によるアクセス

- ・阪神本線 福島駅より 徒歩約9分
- ・JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
- ・JR環状線 福島駅より 徒歩約12分
- ・京阪中之島線 渡辺橋駅または中之島駅より 徒歩約5分
- ・大阪メトロ四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分
- ・大阪メトロ御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

■ バスによるアクセス

- ・大阪シティバス 大阪駅前バスターミナルより
（53系統）→中之島四丁目（旧玉江橋）下車 徒歩1分
（75系統）→田蓑橋下車 徒歩2分